

1. 建物概要

建物名称	竹田運輸湖東町倉庫	BEE	0.7	BEEランク	B-	★★
------	-----------	-----	-----	--------	----	----

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点※/満点	取組み度	評価
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)	3.2 /5	    	ふつつ 
“災害に強いしずおか”の形成 (Disaster)	2.5 /5	    	がんばろう 
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進 (Universal Design)	2.3 /5	    	がんばろう 
“緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)	2.5 /5	    	がんばろう 
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示 します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例 よい 4 点以上 	ふつつ 3 点以上 
			がんばろう 3 点未満 

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。		内訳対応項目	
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)		得点	3.2
 ■室内環境対策 (①室温制御/②屋光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ①Low-E複層ガラスの採用による開口部の温熱環境の向上。 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤外構緑地指数30%以上を確保した。 ⑥緑地の緑が連続するような外構植栽計画を行った。 ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率の運用) ⑨LED照明の採用。 ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪節水コマ及び、節水型便器の採用。 ⑫高強度材の採用。 ⑬ガス消火設備を用いない消火設備の採用。 ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑮主風向に対する見付面積比を60%未満とした。隣棟間隔指標を0.5以上とした。	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① 外皮性能 Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 屋光利用設備 3.2 3.2.1 ③ 屋光制御 Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 躯体材料の耐用年数 2.2.2 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 2.2.3 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 2.2.4 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 2.2.5 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 2.2.6 ④ 主要設備機器の更新必要間隔	Q-3 1 ⑤ 生物環境の保全と創出 3 3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上	
	LR-1 1 ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 2 ⑧ 自然エネルギー利用 3 ⑨ 設備システムの高効率化 4 4.1 ⑩ モニタリング 4.2 ⑩ 運用管理体制		
	LR-2 1 1.1 ⑪ 節水 1.2 1.2.1 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 1.2.2 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 2 2.1 ⑪ 材料使用量の削減 2.1.2 ⑪ 既存建築躯体等の継続使用 2.1.3 ⑪ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 2.1.4 ⑪ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 2.1.5 ⑪ 持続可能な森林から産出された木材 2.1.6 ⑪ 部材の再利用可能性向上への取組み 3 3.1 ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 3.2 3.2.1 ⑬ 消火剤 3.2.2 ⑬ 断熱材 3.2.3 ⑬ 冷媒		
	LR-3 1 ⑭ 地球温暖化への配慮 2 2.2 ⑮ 温熱環境悪化の改善		
“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)		得点	2.5
 ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑰節水型器具の採用。	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 耐震性 2.1.2 ⑯ 免震・制振性能 2.4 2.4.1 ⑰ 空調・換気設備 2.4.2 ⑰ 給排水・衛生設備 2.4.3 ⑰ 電気設備 2.4.4 ⑰ 機械・配管支持方法 2.4.5 ⑰ 通信・情報設備		
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)		得点	2.3
 ■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑱倉庫の階高1F:5.8m、2F:5.7mとした。 ⑲壁長さ比率0.1未満とした。 ■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) ㉑自主後退歩道の採用。	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画 3 3.1 3.1.1 ⑲ 階高のゆとり 3.1.2 ⑲ 空間の形状・自由さ	Q-3 3 3.1 ㉑ 地域性への配慮、快適性の向上	
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)		得点	2.5
 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤外構緑地指数30%以上を確保した。 ⑥緑地の緑が連続するような外構植栽計画を行った。 ■敷地外環境対策 (⑮温熱環境悪化の改善) ⑮主風向に対する見付面積比を60%未満とした。隣棟間隔指標を0.5以上とした。	Q-3 1 ⑤ 生物環境の保全と創出 2 ⑥ まちなみ景観への配慮 3 3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上		
	LR-3 2 2.2 ⑮ 温熱環境悪化の改善		